

## 豊島棚田くらぶ 2025 年度活動実績

はじめに 今年度は瀬戸内芸術祭開催年となり豊島・唐櫃岡も大勢の観光客・訪問者で賑わう中での活動となり、年間の活動参加者は計画を大幅に上回る参加者となった。なお本年は「瀬戸内オリーブ基金」から支援を受け4年目の活動である。

1. **豊島の活動内容、回数、参加者数** 年間活動回数23回、延参加者数は262人と計画(20回、200人)を大幅に上回った。詳細は別途「2025年度活動実績一覧表」とおりである。なお年度当初の正会員は58人、賛助会員は2個人、3法人である。

2. **棚田の保全・景観** 4～12月にかけては例年並みの活動回数を確保することができ六角庵周辺や棚田は稲作、畑作、花の栽培、畔や石垣の草刈りをし、蕎麦の花・菜の花・ヒマワリなど鮮やかな季節の花の彩りもあって、年度を通し良好な景観を確保できた。また当くらぶの棚田に隣接する下側の棚田の草刈りも実施し、「唐櫃の清水」から瀬戸内を見渡す眼下一帯の棚田の景観を確保することができた。なお今年度は参加者多数であり草刈り時間を確保できたが、次年度も作業日には少しでも畔の草刈り作業ができる時間を確保していく。

### 3. 主な作物栽培

(1) **稲作** 田植えは昨年に引き続き6月末の第4日曜日とした。7～8月の炎天下の田んぼの草取りは、厳しい暑さのなか各回11、10、14人の多くの参加者があり多量発生した”コナギ“の除草に多量の汗を流した。また9月には”ヒエ“も多量発生し”ヒエ“の刈り取りにも多大な手間がかかった。夏場の水不足と、異常繁殖した”バッタ“の食害もあり様々な要因があったものと思われるが、収穫量は例年の半量の90kgとなった。また稲刈り予定日が2回とも雨、天候不順のため稲刈りができず、結局地元のKjさんにコンバインで刈り取り・脱穀し乾燥・糶摺りまで実施していただいた。

(2) **麦** 前年12月にいつもより多めの畑3枚(2B、3B、4B)に種まきをしていたため、すべて収穫できるか懸念されたが、刈り取り・ハザがけ～脱穀と2回の作業には各13人、16人と多くの参加者があり、残すことなくすべて収穫することができた。一昨年の”さぬきの夢“から”ダイシモチ(もち麦)“に変更してから2回目となり、大量の収穫、約90kgであった。

(3) **蕎麦** 8月下旬も猛暑が続くなか畑2A、2B、3Bに種まきをし、麦と同様多量のため1回で脱穀・選別とはいかず2回に分けての作業となった。また脱穀は足踏み式の脱穀機とコンバインで脱穀した。コンバインの脱穀は早くて、力もいらぬが、茎の切れ端が実と混ざり、後で選別するのに手間がかかることとなった。来年からはどちらで脱穀するかは量と作業参加者数によって決めることとする。

2026年4月総会資料

収穫量は60kgであり、12月の収穫祭・蕎麦祭りと年末の年越しそばに使用し、また蕎麦粉としても販売することができた。

(4) **大豆** 「豊島味噌づくり愛好会」の方々と協働し、大豆栽培に挑戦した。水が溜まりやす畑3Aに作付けしたが、昨年と同様に花が咲き結実するころの水が不足しほとんど収穫することができなかった。次年度も保水対策として一区画を黒マルチで覆うなど景観に配慮しながら試行していく。

(5) **花** 六角庵前の花畑に種々の花を栽培し、除草もいきとどき季節の彩りを伝える花畑となった。

(6) **その他作物** ジャガイモ、タマネギ、ニンニク、サトイモ、サツマイモなど栽培。ジャガイモは春作はコンテナ3杯であったが秋作は参加者の手土産となる程度の収穫量となった。サツマイモ、サトイモ、タマネギはそれぞれコンテナに一杯、半分、2杯半ほどの収穫である。タマネギは六角庵倉庫に保存していたが、すぐに腐食し廃棄処理と残念な結果となった。六角庵での保存方法に工夫が必要である。

### 4. その他特記事項

(1) **収穫物の販売** お米は例年の半分しか収穫できなかったため、会員分配のみとなり販売分はなしとなった。ダイシモチ麦、ジャガイモ、タマネギは会員・作業参加者で分かち合い、残りは販売し運営費に充当した。なお、ダイシモチ麦と蕎麦粉は好評であり想定以上の販売実績となり、また蕎麦粉は手打ちそば(年越し蕎麦)としても販売し相当の収入増とした。

(2) **収穫祭・蕎麦祭り** 天候に恵まれ、多数の参加者(14人)があり、午前中は、蕎麦の脱穀・選別、ジャガイモの収穫、そら豆・菜花の定植など一仕事し、昼食は、収穫した蕎麦粉を使った手打ちそばを冷たい”盛り蕎麦“と温かい”鳥南蛮蕎麦“にして十分に堪能し、楽しい賑やかな1日となった。

(3) **防獣柵の設置** 昨年度活動地として拡大した田んぼに隣接する六角庵直下の畑の周囲に坊獣柵を設置した。(前耕作者が電気柵を設置していたが老朽化し機能を発揮しなくなり、取り換えが必要であった)。なおこの設置費用は瀬戸内オリーブ基金の助成金を充当した。

(4) **その他** 8月の上期報告会・BG(参加者9人)、9月のBBQ(参加者:大人15人、子供4人)、1月の下期報告会・新年会(参加者8人)など現地活動の他に予定通りの各種行事を実施した。BBQは地元Sgさん提供のイノシシ肉(豊島で捕獲したもの)に鶏、牛肉と3種の肉やサンマにスダチ、焼きナス、カボチャ、ピーマンなどの野菜と多種多様な山海の味わいを楽しむことができた。